

令和3年度 地域発 元気づくり支援金 【木曽地域】 採択事業一覧表

(令和3年5月6日現在)

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(千円)		支援金内定額(千円)	重点テーマ区分
							うち支援金要望額		
1	地域協働の推進	ソフト	南木曽町大学連携事業	南木曽町	様々な地域課題に、若者の視点・外部の視点を取り入れ対応するため、名城大学・名古屋外語大学との連携事業を行う。これにより関係人口を創出し、地域の維持・発展に継続的に関わってもらい、将来的に就職や定住に繋げる。 ①観光課題解決のための夏季フィールドワーク(326千円)、移住体験住宅改修に係るワークショップ(640千円)	966	772	772	「ひと」し「ごと」の確保
2	保健、医療、福祉の充実	ソフト	南木曽グッド・ライフプロジェクト	NPO法人 なぎそチャレンジクラブ	これまで運動教室やイベントを定期的に開催し地域の健康増進を図ってきたところだが、普段運動をしていない人たちにも目を向け、生活の中に運動を取り込み習慣化していくことを目的に、ウォーキング教室、運動効果についての講演等を実施する。 ①運動教室開催費(296千円)、チラシ印刷・新聞折込(160千円)、②ワイヤレスアンプ購入費(305千円)	761	593	365	生活基盤の確保
3	保健、医療、福祉の充実	ソフト・ハード	幸せテラスまめのわ周辺緑地整備事業	木祖村	4月より供用開始される福祉施設周辺緑地の活用について、ワークショップにより意見を集め事業に反映するとともに、住民協働により芝生の植生等の周辺整備を行い、施設と一体となった村民の健康増進や生きがいづくりを創出を図る。 ①消耗品費(241千円)、②工事請負費(3,069千円)、原材料費(752千円)	4,062	3,058	2,439	生活基盤の確保
4	保健、医療、福祉の充実	ソフト	楽しいレク&ウォーク事業	特定非営利活動法人のぞみの里	地域住民の健康の維持や認知症予防、生活習慣病の予防を図るため、子どもから高齢者まで参加できるウォーキングとレクリエーション(健康体操)のイベントを実施する。 ①講師謝金・旅費(120千円)、ウォーキングイベント開催経費(451千円)、使用料(21千円)、印刷通信費(196千円)、看板制作費(33千円)、消耗品費等(42千円)	863	690	688	生活基盤の確保
5	教育、文化の振興	ソフト	県宝「悠久のほほ笑み」や写真による回想法を活用した地域活性化	大桑村	大桑村歴史民俗資料館において、県宝「悠久のほほ笑み」を利用したPRや、写真を活用した回想法写真展(高齢者が懐かしい昔の写真により認知症予防に役立てる)を開催することにより、多くの住民に来館を促し、郷土への誇りの醸成、資料館の価値や意義の再認識を図る。 ①パネル写真作成(365千円)、ピンバッジ作成(540千円)、クリアファイル作成(214千円)	1,120	839	839	
6	教育、文化の振興	ソフト	古瀬傳蔵の生き方に学ぶ大桑村の農業、食を考える事業	古瀬傳蔵記念事業実行委員会	大桑村出身で、戦前農村の窮乏と農民の苦難を救おうと活動し、農村文化振興に寄与した古瀬傳蔵氏の業績を地域の誇りとして語り継いでいくとともに、大桑村の抱える農業や食を巡る現代農業の課題を地域で考える契機とするため、特別展及び講演会の開催及びブックレットの作成を行う。 ①ブックレット作成(648千円)、講師謝礼(300千円)、講師旅費(74千円)、特別展経費(52千円)、資料収集(200千円)	1,274	955	805	
7	教育、文化の振興	ソフト	義仲関連ブックレット作成	木曽町	広報誌にて毎月掲載してきた木曽義仲の四コマ漫画をブックレット化し、電子書籍での配信や販売を行う。また、中学生・住民向け勉強会を開催し、地元住民の理解度の向上を図る。 ①原稿執筆費(1,100千円)、印刷製本費(350千円)、講師謝礼(40千円)、旅費・宿泊費(59千円)	1,549	749	749	
8	教育、文化の振興	ソフト	木曽義仲・巴ら勇士顕彰全国大会開催事業	義仲・巴ら勇士讃える会	木曽義仲の全国ゆかりの地で開催されている全国大会を木曽町で開催し、木曽に縁の深い武将に対する参加者や地域住民の意識の高揚と歴史・伝統文化の継承を図る。 ①講演会謝礼等(1,059千円)、広報宣伝費等(605千円)、消耗品費等(636千円)	2,300	1,368	1,102	観光地域づくり
9	教育、文化の振興	ソフト	木曽地域の新しい「ものごと」開発とマナビの情報発信	木曽マナビネットワーク	木曽の地域資源を活かした新しい「ものごと」(商品や事業等)の開発を行うため、実践的型のワークショップを開催するとともに、その成果を都市部での展示会や冊子により発信する。[3年目] ①広報宣伝費(880千円)、講師謝金(560千円)、講師旅費(209千円)、ワークショップ開催(707千円)、展示会開催(430千円)	2,786	2,228	2,228	「ひと」し「ごと」の確保
10	教育、文化の振興	ソフト	地域から教育を考える～子どもがまんなかプロジェクト～	木曽にオルタナティブスクールをつくる会	地域全体で教育について考えることを目的に、「新たな学び」や「地域教育」などをテーマにした映画の上映会と勉強会を開催する。また、学校以外で子供たちが主体的に活動できるの学びの場を提供するため、「月一小さな学校」を開催する。 ①上映会・勉強会開催(162千円)、会場使用料(35千円)、講師謝礼(125千円)、広報宣伝費(370千円)、消耗品費等(129千円)	821	654	654	生活基盤の確保
11	安全・安心な地域づくり	ソフト	火山防災に関する知識の普及啓発と御嶽山の魅力発信事業	御嶽山火山マイスターネットワーク	御嶽山に関する火山防災啓発及び魅力発信のため、これまで収集してきた資料・写真等を紹介する展示会と今後の資料収集に向けてドローンの活用方法を学ぶ講習会を実施する。あわせて、御嶽山登山者を対象としたアンケート調査や安全啓発活動を実施する。[3年目] ①展示会経費(422千円)、講習会経費(61千円)、啓発用物品(136千円)、アンケートカード作成等(44千円)	663	530	530	防災力・減災力
12	環境保全、景観形成	ソフト	みんなで考えよう!地球環境のこと	木曽町	環境問題をテーマに親子を対象とした体験・学習イベントを開催し、SDGsの紙芝居やカードゲーム、オリジナルマイバックやマイ箸の作成、景品と交換のできるポイント付与を行うとともに、イベントを通じて家庭でできる取組等を考えてもらい、環境問題への意識を高める。 ①機械リース代(101千円)、消耗品等(307千円)	409	326	326	ゼロカーボン
13	特色ある観光地づくり	ソフト	森林浴発祥の地で外気浴! AGEMATSU SAUNA CLUB事業	上松町	上松町の雄大な自然を活用して地域住民を対象にしたサウナ体験会を開催し、年齢・性別・職業等の垣根を越えたコミュニティづくりを図るとともに、サウナイベントを新たな観光資源として広く発信していくことを目的に、備品の整備及び広報用HP等の作成を行う。 ①講演料(297千円)、備品整備(411千円)、HP制作等(539千円)	1,247	935	935	

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金内定額(千円)	重点テーマ区分
							うち支援金要望額		
14	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	コロナ禍後の観光地づくり	公益財団法人妻籠を愛する会	コロナ禍により消滅したインバウンド客の回復を図るため、ハイカーの滞在時間増加に繋がる環境整備を行い、来客自らによる魅力発信を促す。 ①情報発信お礼用木曾ひのき箸(308千円)、②乾燥機付洗濯機及び寒冷地仕様エアコン(407千円)	715	551	551	観光地づくり
15	特色ある観光地づくり	ソフト	南木曾町の「旬」を国内外にお届けする情報発信事業	一般社団法人南木曾町観光協会	既存のホームページが1997年に作成した「施設概要主体」のものであり、現在のニーズである「ビジュアル主体」「リアルタイム性」「スマートフォン対応」等に対応できていないため、インバウンドのみならず国内観光客の需要を喚起するような、新鮮で魅力的なホームページを地域住民と協働により作成する。 ①ホームページ作成費(2,046千円)	2,046	1,636	1,636	観光地づくり
16	特色ある観光地づくり	ハード	町づくり組合と地域が一体となった南木曾町三留野地域の町づくり事業	中山道三留野宿町づくり組合	伝統産業・地場産業を残していくため、活動拠点となる「道のオアシス三留野宿」及びイベント等開催広場の整備を行い、地域住民が主体となった体験型・着地型の観光事業を推進する。 ②建物改修(1,706千円)、敷地造成(990千円)、テント購入(288千円)	2,984	2,237	2,237	観光地づくり
17	特色ある観光地づくり	ソフト	木祖村観光PR動画制作事業	木祖村	地域住民・観光関係者・行政が一体となって、木祖村を身近に感じられる観光PR動画の制作を行うとともに、YoutuTubeでの配信や施設での放映を行うことで、コロナ収束後の観光業や産業の発展を図る。 ①動画撮影編集集委託料(1,947千円)	1,947	1,117	1,117	観光地づくり
18	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	中山道ど真ん中！数原宿インバウンド誘致事業	木祖村	村内にある名勝サインについて、外国人を中心とした多くの観光客に知ってもらうため、村ホームページにある各名勝の紹介を多言語化し、ページヘリンクできるQRコード付き案内版を整備する。また、文化財や名勝を周遊できる英語版パンフレットの制作や、村民向けの散策ガイド講習会及びツアーを実施する。[2年目] ①村ホームページ翻訳(495千円)、英語版パンフレット制作(469千円)、②案内表示板設置(1,350千円)	2,314	1,783	1,783	観光地づくり
19	特色ある観光地づくり	ソフト	あやめ公園池憩いの場創生事業	あやめ公園池保全管理組合	あやめ池の保全や観光誘致を行うため、地域住民による景観整備や、観光客を対象とした自然学習会・植樹イベントを開催する。また、遊歩道整備において木製ベンチを設置する。 ①講師謝礼(20千円)、消耗品費等(67千円)、木製ベンチ購入費(220千円)、苗木等原材料費(319千円)	627	501	501	観光地づくり
20	特色ある観光地づくり	ソフト	木曾観光地づくり戦略プロジェクト事業	木曾広域連合	経済効果を生み出す観光商品の造成やガイド人材の確保につなげるため、モニターツアーやガイド研修会等を行う。[3年目] ①滞在交流プログラム(3,576千円)、ガイド研修会(80千円)、広告宣伝(94千円)	3,749	2,478	2,478	観光地づくり
21	特色ある観光地づくり	ソフト	木曾ツーリズム推進事業	木曾広域連合	コロナ禍の中での観光誘客のため、酒・味噌・すんきといった木曾の発酵文化をテーマとしたツアー造成に向けたモニターツアーを実施するとともに、アフターコロナを見据え、R2に作成した小冊子の英語データ版を作成する。[2年目] ①モニターツアー(537千円)、小冊子英語データ版作成(1,430千円)	1,967	1,475	1,475	観光地づくり
22	特色ある観光地づくり	ソフト	伊那路・木曾路広域連携周遊商品造成事業	伊那路・木曾路広域観光連携会議	木曾・上伊那・南信州エリアで連携した広域観光を促進するため、インバウンドコンテンツ強化とモデルコース造成のための研修・ワークショップを行うとともに、造成したコンテンツを発表・セールスするために商談会及び展示会へ出展する。 ①研修・ワークショップ開催経費(1,430千円)、出展経費(2,107千円)、広報グッズ作成(101千円)、事務費(7千円)	3,646	2,916	2,916	観光地づくり
23	農業の振興と農山村づくり	ハード	南木曾地域遊休農地「畑わさび」ハウス栽培普及事業	南木曾しあわせ農業の会	遊休農地の解消・優良農地の維持のため、鳥獣被害がなく、農業収入の増加が見込める「畑わさび」のハウス栽培を普及する。 ②パイプハウス及びポンプ(1,127千円)	1,127	751	751	
24	農業の振興と農山村づくり	ソフト・ハード	新規就農者の地野菜生産・加工を中核にした就農支援事業	王滝村	生産者の高齢化により、王滝カブ、そば、水稲など地野菜生産・加工量が減少していることから、機械化により作業の負担を減らすとともに、高齢指導者から技術を学べる講習会等を開催する。また、移住相談会や情報発信により、新たな担い手の育成と確保を図る。[3年目] ①講習会消耗品(185千円)、講師謝金(150千円)、宣伝費(330千円)、移住相談会(110千円) ②トラクタ(4,150千円)、真空包装機(1,430千円)、斜面草刈機(244千円)	6,600	4,988	4,988	「ひと」しごとの確保
25	森林づくりと林業の振興	ソフト	木曾産木材・木工品発信事業	木曾広域連合	下流域自治体における森林環境譲与税の木曾地域での利活用を推進するため、木曾地域との連携によりどのような取組が可能か発信する必要がある。あわせて流域自治体の住民が満足できる木材の利活用を提案するため、木材の利活用によりいかに心身が満たされるかといった住民の声を発信する。 ①情報発信(1,419千円)、木育講座(1,188千円)	2,607	2,085	2,085	森林・林業
26	森林づくりと林業の振興	ソフト	水源の森の魅力を伝える地域間交流事業	木曾広域連合	木曾川下流域の住民を対象に、ワークショップ(名古屋市)や夏休み体験ツアー(王滝村)を実施し、上下流域交流を推進する。[3年目] ①ワークショップ謝金・交通費等(263千円)、体験ツアー委託料等(549千円)	812	565	565	森林・林業
27	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	食の日本遺産PR事業	木曾広域連合	地域が一体となり、日本遺産に登録された「手打ちそば」「すんき漬け」「朴葉巻」を効果的にPRするため、各取扱事業者が日本遺産であること及びストーリーを知る機会を設けるとともに、各店舗においてのぼり旗の掲出、紹介カードの配布を行う。 ①啓発物作成費(2,814千円)	2,814	2,251	2,251	観光地づくり

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金内定額(千円)	重点テーマ区分
							うち支援金要望額		
28	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	木曾ペインティングス	一般社団法人木曾アーツ	全国からアーティストが集まり、村内の空き家を活用したアートイベント(展覧会やワークショップ)を開催し、地域資源の発掘や観光客の誘致につなげる。あわせて、信濃美術館での企画展を行い、これまでの取り組みや木祖村の魅力紹介を実施する。 ①旅費(406千円)、記録集制作費(512千円)、消耗品(92千円)、通信運搬費(76千円)、広告宣伝費(182千円)、光熱水費等(90千円)、ワークショップ小屋材料費(204千円)、謝礼金(450千円)、灯笼制作費(429千円)	2,565	2,051	2,051	観光地域づくり
29	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	木育推進事業	木曾町	「おもちゃ美術館」を設立し木工と木育の推進を目的に、「おもちゃ学芸員」、「木育インストラクター」の養成講座を開催し、ボランティアスタッフ等の確保を図る。[3年目] ①おもちゃ学芸員養成講座企画運営(1,375千円)、木育インストラクター養成講座企画運営(990千円)、木育キャラバン(990千円)、親善大使募集(55千円)、東京研修(715千円)、情報発信媒体作成(220千円)、クラウドファンディング(550千円)、運営マニュアル提供(880千円)	5,775	1,892	1,892	森林・林業
30	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	みんなで考える住みたい田舎「木曾」	木曾広域連合	木曾地域への移住促進のため、移住者や地域おこし協力隊、地域住民等によるワークショップを開催し、魅力ある木曾地域のPRデザインについて検討する。成果品として、移住PR用小冊子及びグッズを作成・配布するとともに、検討結果を踏まえたデザインでラッピングバスを走らせる。 ①ワークショップ・デザイン・グッズ製作費等(1,292千円)、ラッピングバス広告(2,501千円)	3,793	3,034	3,034	「ひと」「しごと」の確保
31	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	上松町太陽光発電設置シミュレーション環境整備事業	上松町	再生可能エネルギーの普及拡大にあたり、上松町における太陽光発電の普及・設置を促進するため、太陽光発電シミュレーションソフトを導入し、住民相談等に活用する。併せて、地域住民や中学生を対象とした講演会を開催し、地域住民の再生可能エネルギーに対する意識啓発を図る。 ①講師謝金(195千円)、広報費(75千円)、機材整備(128千円)、②ソフト購入(597千円)、	994	764	764	ゼロカーボン
木曾地域振興局 計					31 事業	65,903	46,772	45,507	26

【再掲】県全域及び木曾地域で重点的に推進するテーマに関する事業

<県全域>

重点テーマ区分	件数	支援額
地域防災力の向上	0	0
2050ゼロカーボンに向けた取組の推進	2	1,090
計	2	1,090

<木曾地域>

重点テーマ区分	件数	支援額
森林、林業を活かした地域づくりの推進	3	4,542
観光地域づくりの推進	12	20,098
地域防災力・減災力の強化	1	530
人口減少下における「ひと」「しごと」の確保	4	11,022
生活基盤の確保	4	4,146
計	24	40,338
合計	26	41,428